



マッシー川口の  
from New York

# from New York

## 「最終回はタングルウッドの 美しい調べとともに」の巻

ハイ、こんにちは～。お元気？ 1996年1月から連載させて頂いてきたこの記事もいよいよ今回で最後。これまで、スタッフの方をはじめいろんな方々にお世話になり、本当に感謝、感謝！です。

私が渡米したのは6年前の95年5月4日。あの時、ニューヨークではインターネットを使ってる人が増えつつあったけど、日本ではEメールもまだ限られた人しか使ってなくて、周りの友人や仕事の人も、メールアドレスを持っている人はほとんどいなかった。当時は日本が遅れているように見えたけれど、あれから5年半、インターネットの波は、さざ波からハワイのノースショア級のビッグウェイブになり、日本列島をアツという間に飲みこんでいったわね。5年はもう「ひと昔」という感じで、インターネットを使う人は「特別な人」から「普通の人」になった。いまやインターネットなしには仕事もできないし、友人&親戚関係にも必要不可欠よね。

そもそもこの記事はその年の秋からスタートした「インターネットエクスプレス」というテレビ番組の司会の収録のために、ニューヨークから東京まで2週間に1度の割合で、超遠距離通勤していたころ、番組のプレーンだった本誌との出会いがあり、これがご縁で連載を始めさせて頂いた。同番組で一緒に司会をされた慶応大教授の村井純先生ともお知り合いになり、インターネットの将来像などいろんなお話しをしてもらったのも貴重な経験。「アップルかウィンドウズか」なんていう本が店先に並んでいたことも懐かしいワ～。

先月のニューヨークのMacWorldでは、Apple社のCEO スティーブ・ジョブズ氏とマイクロソフトの2つの基調講演をPC Watchの原稿を書くので取材したの。いまやジョブズ氏が、投資&マッキントッシュ対応ソフトのサポートをしてもらっているマイクロソフトのマネージャーを丁寧に紹介する姿ももうめづらしくないわねえ（マックユーザーの私は今年中に新G4を購入することにした！）。^^）今後、人間の生活はさらにオンラインで管理されることになりそう。そういう未来だからこそツールはデジタルで、心はアナログで行きたいなんて思う今日この頃デス。

ところで、話は変わるけど、ニューヨークで「今年最後」といえば夏の間に避暑地「タングルウッドの森」で聴ける小沢征爾さんの指揮するボストン交響楽。今年もうちから車で約3時間、タングルウッドの「森の音楽会」に行ってきたよ。ウイーンでのオペラの指揮への意志を通して、いよいよ小沢征爾さんの指揮でのボストンフィルは今年が聴き納めの年になりました。夏の間ここで50回以上のコンサートが開催されるなかで、小沢征爾氏が指揮をされるのは貴重



e-mail : masshyK@hotmail.com

### カワグチ マサヨ

「NY在住のフリージャーナリスト。95年に渡米し、日本での取材番組のキャリアを生かして、テレビやラジオ、インターネットにNYからレポートを発信している。4月からはNHKのBS「新真夜中の王国」でNYレポートを担当するほか、毎日放送でも土曜深夜のラジオ番組（&ウェブ）に登場している。

Jump masshy.com



な4、5回。毎年小沢さんをお目当てに夏にタングルウッドに行くのを楽しみにしているニューヨーカー&日本人も多いの。マンハッタンからのバスツアーも出てるヨ。最初の年は、野外の屋根付きのホールの指定席で観たけど、芝生でピクニックしながら寝ころんで聴いている人が気持ちよさそうで、翌年から芝生（チケットは15ドル）で聴くことにしたの。今回は夜8時半からのスタートで、内容はコリグリアーノのシンフォニー2番とスペシャルゲストのYO-YO MAが出演するドルザークのチェロコンチェルト Bマイナー Opus104でした。昼からお弁当を作り、夕方6時にタングルウッドに到着して、パーキング場に車を駐車したら、そこからアウトドア用のイスやら敷物やら、大きなバッグを持ってぞろぞろ森の中へ。みんな思い思いの場所に早々と居心地の良いスペースを作っていきわけ。なかには、テーブルのまわりにイスを置いて、お花を飾り、お皿やワイングラスをセットする本格的派もいるし、寝袋で寝ながら聴く人もいたり、リラックスして好きなように聴くの。キャンドルを灯している人もたくさんいるのよ。

うちは、芝生の真ん中の障地で、おにぎりをほおばり、卵焼きとソーセージをつまみ、隣はチーズにパンやフルーツ、サンドイッチ。ディナーをすましていざコンサートが始まると、一斉にし～んと静まりかえり、徐々に日没を迎え、あたりが暗くなる夕べに森にメロディーが響くの。人の話し声もあまり聞こえないし、みんな、ちゃんと音楽を聴いているのには感心するわ。

YO-YO MAの演奏を生々の舞台上で聴くのは初めてだったけれど、もう「美しい」のひとつで、本当に素晴らしいかった！ ハイテクで表現力豊かな彼の奏でるチェロ

の音色は、ホールを越え、芝生で横たわる私の心の中の隙間に優しく強く突き刺さってきた。空には満点の星が輝いていて、天の川も見えて、時々流れ星が光る。そんな環境でシンフォニーwith YO-YO MAを聴いていたら涙が溢れてきたよ。あまりに良くて泣けてきた。こういうのって感動の涙なんだろうね。演奏を終えたYO-YO MAはこう言ったの。「15年前、ミスター小沢は私達ヤングファミリーをここへ招待してくれて一緒に演奏した。そしていま、今年彼の最後となるこのタングルウッドで再会し、こうしてまた一緒に演奏ができて本当にうれしい。今日を僕は忘れないだろう。」と。ソフトな彼の声のトーンとその言葉にまた泣けてきたのよなえ。ヒクヒク。生きていければ、出会いがあって別れがあるもの。でも、再会もあるのね。今後ともインターネットマガジンをどうぞよろしく！あなたのこれからの日々がハッピーでありますように。また、いつかどこかでね。ではでは、お元気だね。ありがとう！ マッシー：)

- 今月の関連サイトはココ！
- タングルウッドの公式ホームページ
- [www.tanglewood.org/arms0f850.jhtml?catName=Tanglewood&area=tlg](http://www.tanglewood.org/arms0f850.jhtml?catName=Tanglewood&area=tlg)
- MacWorldの情報サイト
- [www.watch.impress.co.jp/pc/docs/article/20010719/macwoz.htm](http://www.watch.impress.co.jp/pc/docs/article/20010719/macwoz.htm)

Illustration : Kido Satoko





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)